

映画「バルトの楽園」 6/17堂々封切り！

このほど、第一次世界大戦中の奇跡的な史実を壮大なスケールで描く感動大作映画『バルトの楽園』が全国で封切られることになりました。

この映画は、第一次世界大戦時の徳島にあったドイツ人捕虜収容所において、収容所長・松江豊寿^{とよひさ}を始めとする日本人とドイツ人捕虜が言語、民族、習慣を超えて素朴な人間愛を育み、ドイツ人捕虜によって日本で最初にベートーベン『交響曲第九番 歓喜の歌』が演奏されたという史実に基づいた感動大作です。

主人公・松江豊寿に松平健。共演には、大ヒット映画『ヒトラー～最期の12日間～』でアドルフ・ヒトラー役を演じ話題となったブルーノ・ガンツが演じます。湘南地方では「フジサワ中央」他で上映されます。どうぞご期待下さい。

ご存知ですか……

ワイマールの“たまねぎ市”

毎年10月の第二週末の3日間、たまねぎ市は開催されます。この有名なお祭りではハーブの香り、香辛料、焼きソーセージ、ベーコンやオニオンケーキ、そして「玉ねぎ市の女王」の登場や舞台上での様々なプログラムが楽しめます。夜遅くまで続くこのお祭りは350年の歴史があります。



ワイマール名物の「たまねぎ人形」

湘南日独協会 2006 年度活動予定

今年も楽しく ドイツフェア



湘南日独協会…夏の恒例行事となったビアイベント「ドイツフェア」が今年も賑やかに開かれます。今からどうぞご予約下さい。

出演 エーデルワイスカペレ
合唱団「アムゼル」

日時 平成18年7月29日(土)18:00～

会場 藤沢市民会館第一展示集会ホール

■ 6月24日(土)18:00～ 会員懇話会

卓話 歌う喜びー聴く楽しさ
能登 崇氏(湘南日独協会会員)

会場 湘南アカデミアサロン

会費 500円 懇親会は別席で各自自弁。

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 8 NO. 3. 通巻45. 発行 2006.5.27.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 45.

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

ワイマール市民の鎌倉訪問

ドイツで話題に！

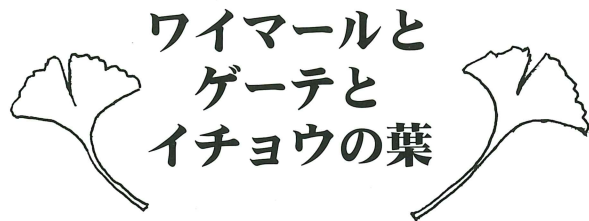


ワイマール市長はじめ市民128名の鎌倉訪問団は植樹祭、晩餐会や市民交流会などの行事を終え、帰国しましたが、ドイツでも大きく報道されました。その一部を裏面で紹介してあります。

★★★★★★★★★★★★★★★★

新入会員紹介(12月1日現在・敬称略・順不同)

揖斐曉美	高野光司	野一色朝一	志田麻衣
上田葉子	風間嘉郎	越智隆夫	勝亦正安
奥村義道	奥村たまき		



ワイマールと ゲーテと イチョウの葉

ドイツ中部チューリンゲン州のワイマールは人口6万人程度の小都市です。ワイマール憲法で町の名は有名ですが、実はのどかな田舎町です。緑溢れる公園、周辺に広がる丘陵地帯など、豊かな自然が私たちを迎えてくれます。しかし、地方小都市とはいえワイマールの佇まいにはどこか洗練されたものが感じられます。それもそのはずで、ワイマールはかのゲーテが造り上げた理想都市なのです。ゲーテは50年以上にわたりワイマールに居を構え、宰相として市政にも携わっていました。ワイマールの町はゲーテが造ったというの、町を宣伝する美辞麗句ではなく、多分に真実を含んだ言葉なのです。

ワイマールとゲーテを語るとき、「イチョウの木」がひとつのキーワードとなります。東洋から渡来した不思議な形の葉を持つこの樹木をゲーテはたいへん気に入り、詩の題材に取り上げています。「1つの葉が2つに分かれたのか、2つの葉が1つになろうとしているのか」。そう、彼はワイマールで目にしたイチョウの不思議な形を、別個の存在でありながら互いに求め合う男女、恋愛の象徴としてとらえました。イチョウの葉を貼り付けたこの詩を、老いたゲーテは愛する女性に捧げたそうです。愛に生きた詩人ゲーテの本領発揮といったところでしょうか。そういうわけでイチョウはワイマールでは非常に人気があります。町の土産物屋を覗くとイチョウの形をあしらったペンダントなどのイチョウグッズが所狭しと並べられています。一方ではるばる東洋から運ばれ、ゲーテとの出会いから町のシンボルにまでなったイチョウの数奇な来歴に思いを馳せながらワイマールを逍遥するのも乙な楽しみ方です。(WORLD FEBRUARY 2006から抜粋)

ドイツ・ワイマール市民訪問団 鎌倉訪問の印象

…ドイツの新聞報道から

ワイマール独日協会事務局のバウハウス夫人からお便りが届きました。市民訪問団の皆様は鎌倉、箱根、東京の旅をととても楽しまれ、とりわけ鎌倉での交流会が印象に残っているようです。帰国後ワイマールでは毎日のように新聞、ラジオ、テレビに旅行のことがとりあげられたとのことで、新聞記事のコピーを送っていただきました。15紙もの記事から、その一部をご紹介します。

.....

Eine Brücke aus Musik

Bürgerreisende fanden in Kamakura Freunde

チューリンガー・アルゲマイネ紙(2月27日)
音楽の架ける橋—市民訪問団は鎌倉で友人を得た。

Bevor sich die Weimarer von den Freunden in Kamakura verabschiedeten, genossen sie die Zeit in vollen Zügen.

Wie nahe sich die Bürger von Kamakura und Weimar trotz unterschiedlicher Mentalitäten doch stehen, zeigte sich Samstag beim gemeinsamen Kulturprogramm.

Beim spontan angestimmten „Heidenröslein“ formierte sich danach der wohl zurzeit größte Chor in Kamakura.

Reiseleiter Hartmut Eckhardt konnte nach dem Konzert einige Tränen der Freude nicht verbergen, die Japaner wiederum ihre Hochachtung nicht.

ワイマール市民は、3日間の鎌倉滞在の後、箱根国立公園へ向かった。鎌倉の友人たちに別れを告げる前に、盛りだくさんの催しで歓待された。歓迎晩餐会の翌日には交歓演奏会が催された。鎌倉・ワイマール両市市民は、異なった文化を持つにもかかわらず、互いに演奏を聞かせあって、楽しんだ。最後にはプログラムにはなかった「野バラ」の歌声が自然に始まり、全員で合唱することになった。ヘルムット・エクハルト団長も、喜びを隠しきれなかった。(編集者要訳)

.....

その後、個人レベルの日独交流もはじまったようです。ドイツ旅行の途中、早速ワイマール市に立寄り交流を深めてこられた会員の方からのお便りです。

ワイマールを訪ねて

会員 三谷喜朗

この度4月上旬、ワイマールを訪問する機会がありました。ワイマール独日協会の会長Christian Lohmann氏と夕食を共にし、食後、夜のワイマール市内を会長に案内して頂きました。市で一番古いレストランZwiebel(ツヴィーベル)にてZwiebel Kuchen(玉ねぎのケーキ)をご馳走になりました。玉ねぎ入りの豆腐?のステーキのようで薄味ながら乙な味でした。焼失したアナ・アマリア図書館は2008年には再建できるとの話を伺いながらゲーテの家の脇の細い道を入って行きました。1993年に天皇・皇后両陛下が訪れたレストランZum Weißen Schwan、シラーの家、ドイツ国民劇場等々を巡りホテルに戻りLohmann氏と再会を約して別れました。湘南日独協会会員の皆様、近い将来一緒にワイマールを訪問しようではありませんか!